

実施概要

1. 日時と会場

平成 25 年 5 月 9 日（木）

神戸大学六甲台キャンパス 百年記念館会議室 A

2. 内容概要

・公表された国立大学、公立大学の学校基本調査のデータをどのように活用できるのかについて、参加者と共に考えます。そのため、講義などは設定せず、比較的少人数で話し合いをしながら考えていく構成になっています。

・具体的には、参加者で個別のデータ項目と実際のデータを参照しながら、これならあれに使えるそうではないか、使う際にはどのようなことに留意すべきか、あるいは、これには使えないかもしれない、などについて全員参加型の討論を通じて考えました。

・上記の討論の結果をもとに今後、実際に実施可能な研修などについても考えました。

3. タイムテーブル

12:30－13:00 受付

13:00－13:30 趣旨説明・自己紹介

・呼びかけ人を代表して畠田が簡単な挨拶を行った後、浅野の進行で、自己紹介と趣旨説明を行った。

13:30－14:30 討論 1

・在学と入り口

14:40－15:40 討論 2

・出口

15:50－16:30 まとめ

4. 対象者

○ 原則として、実務担当者〔事務系職員等〕の方を対象としました。

・実務として、過去に数量データ処理を取り扱ったことがある方。

・評価業務や IR 業務として、数量データを利用している経験がある方。

・Excel で関数を使った集計作業等ができる方。

・学校基本調査のデータが提供されている国立、公立大学の方だけでなく、私立大学の方でも申し込みいただけるようにしました。

5. 定員

15 名（積極的なご発言ができるよう人数制限をさせていただきました。また、参加者はなるべく 1 大学あたり 1 名とさせていただきました。）

6. 参加費：

- ・参加費は徴収しませんでした。

7. 事前準備と持参したほうがよい物品等

- ・学校基本調査のデータについては、一通り目を通しておいていただくようお願いしました。

<http://portal.niad.ac.jp/ptrt/table.html>

- ・なるべくパソコンをご持参くださるようお願いしました。(学校基本調査のデータ自体は、プロジェクターでスクリーンにも投影しますが、ご自身が見たいデータ等をご覧いただくためには、パソコンをご持参いただくほうがよいと判断したためです。)
- ・インターネット接続環境については、神戸大学情報基盤センターのご協力により、参加者全員に提供しました。